

「日本とつながりの深い国々」 (6年・社会科)



ツール・機能：インターネット
ファイル共有機能

(Microsoft Teams、Google Classroomなど)

プレゼンテーションソフト (Power Point、スライドなど)

分類：調査活動・探究活動

ICT活用のねらい

- 一人一人が自分で端末を操作しながら、情報を収集、整理、共有して調べ学習を行うことができ、主体的に学ぶことができます。
- 調べ学習の際、一人一人の手元に、調べる資料を準備できるため、資料の数の不足が解消され、調べ学習の効率化が図られるとともに、質の高まりも期待できます。
- 作成した資料は、電子黒板や1人1台端末で見やすく提示できるため、児童全員に効果的な提示ができます。
- 作成した資料は、修正や保存が簡単にできるため、印刷して掲示したり、データとして残したり、後の管理もしやすくなります。



学習(単元)の流れ(全7時間)

活用場面①

課題把握(導入)1・2	課題追究(展開)3~5	課題解決(まとめ)6・7
<ul style="list-style-type: none">・これまでの学習や経験から、日本とつながりの深い国を見付ける。・「日本とつながりの深い国の人々は、どのような生活をしていて、その生活には日本とどのようなちがいがあるのだろう」という学習問題をつかみ、調べたい国を1つ選ぶ。	<ul style="list-style-type: none">・ファイル共有機能を使って自分の選んだ国の日本とのつながりや学校の様子、衣食住、産業、文化やスポーツなどについて、グループごとに分担し、1人1台端末を使って調べる。・調べたことをグループで共有し、発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none">・学習問題について調べてきたことを発表し、友達と共有した気づきを基に自分の考えを意見文にまとめ、今後の学びへつなげる。

活用場面②



活用場面③

ここがポイント!

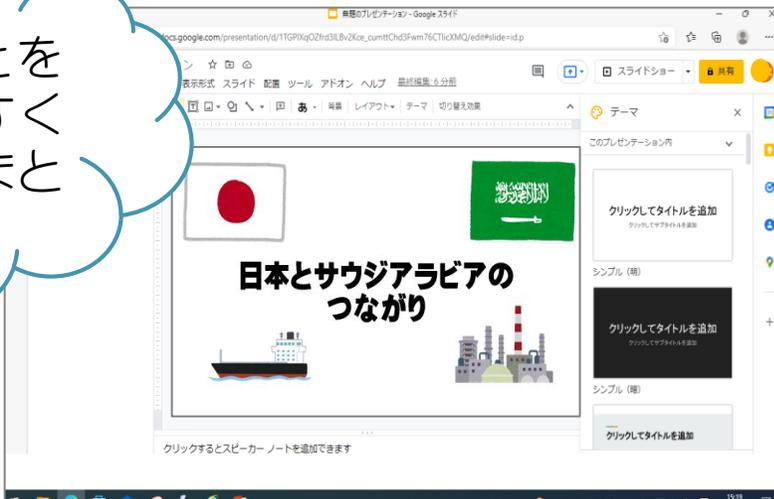
展開での活用場面①

* OS が Google の場合

- ① 共同編集するスライドファイルを作っておく。
- ② Google Classroomで「クラス」を作成する。
- ③ 「授業」を作成し、①で作った共同編集するファイルを添付する。
- ③ 「生徒は編集可能」を選択して、ファイルを配付する。

同じグループの児童が同時に作業可能となり、効率よく作成することができます!

調べたことを
分かりやすく
スライドにまとめよう!



Googleスライドを活用して

自分の選んだ国と日本とのつながりや学校の様子、衣食住、産業、文化やスポーツなどについて、グループで分担して調べ、Googleスライドを活用してまとめます。修正も簡単にできるので、便利です。項目がスライドごとに分かれているので、伝えたいことがはっきりします!



ここがポイント!

展開での活用場面②

それぞれで調べたことが、1つの作品としてまとまるので、グループで共有し、発表の準備をします!

発表に向けて、それぞれで作ったスライドを見ながら、準備をしよう!

もう少し画像を大きくして、説明をつけた方が分かりやすいね。



このスライドに合う説明を考えたから、聞いた後に、意見を聞かせてくれる?

いいよ! その後は、ぼくのも聞いてね。

みんなで話し合い、吟味しながらより良いものにしていけるといいですね!



各自で分担した内容について、自分なりに調べ、考えたことをまとめることで、友達がまとめたことや考えたことも聞きたくなります。個別最適な学びが、協働的な学びへとつながっていきます!

ここがポイント!

まとめでの活用場面③

Google スライドを活用

気付いたことを各自書き込み、グループ内で共有することで、自分の考えにつなげます。

	日本と似ているところ	日本とちがうところ
中国		
アメリカ合衆国		アメリカの学校は、9月や10月に始まる
韓国	韓国の小学校も日本と同じ6年間 主食も米で、似ている!	
サウジアラビア		たくさんの原油が産出される。資源豊か!

どの国にも、日本と似ているところやちがうところがあるんだね!

多くの国や人々が分かり合えるためには、どのようなことが必要なのでしょうか?

学習問題について調べてきたことをグループごとに発表し、友達と共有した気づきを基に、自分の考えを意見文にまとめ、今後の学びへつなげる。

